

春の訪れが例年より早く、桜の季節から新緑の季節へと移り変わり、色鮮やかな緑と早くも薫風とも感じられる心地よい風が、新たな出会いの季節を彩っています。

ただ今、入学を許可いたしました 358 名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生、教職員を代表して、皆さんの入学を心から歓迎いたします。また、保護者の皆様方におかれましても、心よりお慶びを申し上げます。

本校は昭和 49 年に開校し、今年で 45 年目を迎えます。卒業生も 15000 名を数え、様々な方面で活躍しております。リーダーとして社会にたくましく貢献する人物を育成することは、本校の大きな教育目標でもあります。

また、平成 28 年度からは神奈川県教育委員会より「授業力向上推進重点校」との指定を受け、「生徒の第一志望の進路をかなえる」ことを目標に質の高い授業を研究しております。

さて、新入生のみなさんは、今、同じスタートラインに立ちました。ゴールは、卒業式の日、みなさん一人ひとりが感じる「やりきった」という想いです。「穏やかで、楽な高校生活」ではなく、「学習」「部活」「行事」の 3 つすべてを追いかけ、「忙しくて時間に追われる高校生活」を目指してください。今、みなさんに期待することは、困難で難しい道を敢えて選ぶことです。そのことが、この麻高の 3 年間を一生の宝物にする方法だと思っています。

また、みなさんには「考え続ける力」を育てほしい。暗記で得る知識ではなく、正解のない課題を解決する方法をあきらめずに粘り強く考え抜く力を身につけてほしいと思います。

いま、世界の社会情勢は大きな転換期に来ていると感じます。変化のスピードもどんどんと速くなっていき、課題も複雑化して正しい答えを導くことが次第に困難になってきています。地球環境の問題、グローバリズムの持つ課題、情報化の加速、人工知能の進歩など、先人たちが経験していない問題が皆さんの将来に待ち受けています。この課題の正解を導き出すことは不可能でしょう。しかし、多くの人々が納得をしてよりよい世界を創りあげる事は、これからの時代を生きていく私たちがあきらめずに「考えて」いくことによって、はじめて可能になることだと思っています。

そして、将来は「世界のどこかを支える人間」になってほしいと思っています。麻高でさまざまなことに挑戦し、最後までやり遂げてください。職員一同、皆さんを 3 年間しっかりサポートしてまいります。

最後になりましたが、保護者の皆様には、あらためて入学のお慶びを申し上げます。今日のこの日を迎えるにあたって、感慨もひとしおだと推察いたします。職員一同、大切なお子様を、責任を持ってお預かりし、しっかりと成長させてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

一つだけお願いがございます。それは、お子様の行動に対し、時にはぐっところえて、見守ってほしいということです。

高校時代は、生徒一人ひとりが、自分の人生を自分の力でつかみとっていく大切な時期であります。しかし、保護者の皆様から見ると、生徒が頼りなく、ずいぶんと悩み苦しんでいる時、つい手を差し伸べてあげたいという場面が数多くあると思います。

しかし、人間は失敗しながら成長していくものであります。時にぐっところえて、お子様がもがきながら成長していく姿を見守ることも必要かと存じます。

生徒たちの成長にとって、本校とご家庭は大きな車の両輪だと考えております。学校のことで何かありましたら、遠慮なくご相談ください。学校と保護者が連携して、生徒の成長はあるものだと考えております。

どうぞご支援賜りたいと存じます。

新入生の皆さん、三年後の卒業式では、全員が「麻高で高校生活をやりきった」「麻高で夢がかなった」「忘れられない出会いがあった」と思い、立派に巣立って行ってくれることを期待し、私の式辞といたします。

平成 30 年 4 月 6 日